

株 主 メ モ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 剰余金の配当基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 単元株式数 500株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

- 公 告 方 法 電子公告(<http://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

●上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年6月にお支払いする配当金について株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。配当金を配当金領収証にて受取られる株主様は来年の確定申告手続きに合わせて平成21年末～平成22年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。
(なお、口座振込を指定されている株主様は配当金をお受取の際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引続き確定申告の際の添付資料としてご使用ください。)

●株主様のご住所・お名前等を使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

なお、特別口座にて管理させていただいております株主様には、平成21年2月に「特別口座開設のご案内」をお送りしており、そのご案内の中のご注意事項で使用文字の制限についてご案内しております。

株式
会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号

TEL.03-3546-7711

<http://www.musashinet.co.jp/>

Musashi Financial Report 2009



MUSASHI

株式
会社 **ムサシ**

第88期 年次報告書

(2008年4月1日～2009年3月31日)

証券コード：7521

私たちは
人とシステムの
創造と調和を実現し、
健全で信頼される企業を
目指し続けます。



新たなチャレンジへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに第88期(2008年4月1日から2009年3月31日まで)年次報告書をお届けするにあたり、日頃のあたたかいご支援に心から厚く御礼申し上げます。

さて、第88期は米国発の金融危機が世界的な不況を引き起こし、日本の実体経済にも大きな打撃を与えました。当社におきましても、自社開発商品の主要市場である金融機関や流通業界、または印刷業界において設備投資が大幅に抑制されたほか、紙の市況が低迷する影響を受けました。

このような環境が当分継続すると予想される中、当社が企業として生き残り、さらに発展していくには「収益体質の改善を図り、稼ぐ力を高める」ことが最大の課題であります。そのためには、メーカーとして「独自性のある新商品の開発」、あるいは

は商社として「画期的な商品の発掘」などのアイデアや工夫と、それら商品を収益に結びつける行動力が必要であると考えております。

既成概念にとらわれず、絶えず創造し開拓していく姿に会社の未来があるはずで。様々な環境の変化を素直に受け入れ、自ら新たなチャレンジを仕掛けていき、ムサシ発の新しい流れをひとつでも多く創り出していけるよう努力してまいります。

そして、グループ各社の特徴や強みを活かし既存事業の拡大を図るとともに、その周辺分野で新たな成長事業を構築することに全力で取り組み、常に安定した業績を確保できる体制を確立することを目指して邁進する所存です。今後とも引き続き格別のご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2009年6月



代表取締役社長

小林 厚一



暮らしの中で、さまざまな 便利をお届けしています

【情報・産業システム】

あらゆる情報を有効活用する
多彩なシステムをご提供しています。



カラードキュメント
スキャナー ドキュメントアーカイブ
システム

【印刷システム】

先進のデジタル印刷システムを
ご提供しています。



CTPシステム

名刺プリントシステム

【紙・紙加工品】

紙・特殊紙から紙加工品まで
幅広くご提供しています。



【金融汎用システム】

現金処理業務やセキュリティを
サポートする機器をご提供
しています。



鍵管理機

小型紙幣整理機

【選挙システム】

選挙業務を総合的にサポート
する機材やサービスをお届け
しています。



自然に開く投票用紙

投票用紙読取分類機



情報・産業システム

オフィスや自治体、学校、図書館などで発生する様々な文書や伝票、図面、書籍などのドキュメント。また、医療機関でのカルテ、X線フィルム、さらには文化的遺産の古文書や絵図、写真など。これらの膨大な書類は、スキャナーやデータエントリーによってデジタルデータに変換することで、情報として広く活用することが可能になります。ムサシは、これら情報の入力・活用からアーカイブ、原本の管理・廃棄にいたるまでトータルな情報マネジメントを提供し皆様の便利を実現しています。



印刷システム

印刷会社では、今やデジタル技術の進展により印刷物の製作工程が飛躍的に進化しています。これまで職人の技術に依存してきた写植や版下、製版などの工程が高度なデジタル処理によって簡略化されスピードアップしたほか、写真の再現性も格段に向上しました。一方、少量部数の印刷に最適な、版を作成しないプリントオンデマンドシステムも急速に普及しています。ムサシは富士フィルムの特約店として、先進のデジタルプリプレスシステムやプリントオンデマンドシステムのほか、手軽に名刺やハガキ、封筒などを印刷・作成するIPSシステムなど、あらゆるニーズにマッチする印刷システムを提供しています。



金融汎用システム

金融機関をはじめ、デパート・スーパーなどの流通業、鉄道・バス・タクシー会社などの運輸交通業、宅配業、公営競技場、遊技場等での売上金精算のほか、現金を取り扱う様々な分野でムサシの貨幣処理機器は幅広く採用されています。ムサシは自社で開発・製造した多彩なシステム機器によって、機能的なマネーフローと業務フローの効率化を実現する先進のソリューションをご提供。また、これらの市場で求められる、鍵やIDカードの管理機器、文書管理システム、デジタル監視システムなど高度なセキュリティシステムもお届けしています。



選挙システム

選挙を行う全国の自治体に向けて40年以上にわたり、投票事務の効率化をサポートしてきました。スピードアップの追求だけでなく、公正で厳正さが要求される選挙。お客様との信頼を着実に重ねながら商品やサービスの充実に取り組んできました。自然に開く投票用紙をはじめ、読取分類機や計数機などの機器から、投票箱や投票記載台などの用品・用具類に至るまで各種選挙用機材を取り扱っています。また、投票率アップのプロモーション支援や効率的な投票所のレイアウト設計、選挙スタッフの派遣、機材の保管や点検、機材レンタル、会場の設営・撤収業務など、多彩な商品やサービスを提供しています。

多彩な商品でニーズにお応え！

- スキャナー
- ドキュメントアーカイブシステム
- アウトソーシングサービス
- 産業検査システム

多彩な商品でニーズにお応え！

- CTPシステム
- デジタルカラーブルーファ
- プリントオンデマンドシステム
- IPSシステム

多彩な商品でニーズにお応え！

- 貨幣処理機器
- 鍵・カード管理機器
- デジタル監視システム
- 手形発行・管理システム

多彩な商品でニーズにお応え！

- 投票用紙計数機・交付機
- 投票用紙読取分類機
- 自然に開く投票用紙
- 選挙業務管理ソフト
- 選挙スタッフ派遣

●ここに技あり!

業界初の卓上型 紙幣入金整理機「テラック460HA」

業務の効率化は終わりのないテーマ。厳しい市場環境の中、金融機関は個人顧客の獲得を目指して投資信託や保険などの販売を強化しています。それに伴い、商品説明を得意とする専門知識を持つものの、紙幣の扱いに不慣れな職員が店舗窓口に配置されるケースが増えていて事務負担の軽減が急務となってきました。

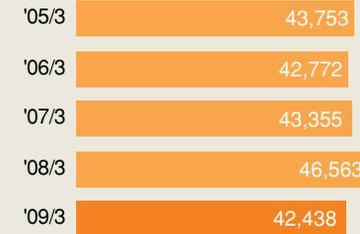
そこでムサシは、誰でも簡単に操作でき、迅速で正確な入金処理を可能とする紙幣入金整理機「テラック460HA」を発売(2009年2月)。毎分600枚の高速で紙幣を真偽判別しながら金額を確定し、同時に金種別に分類整理するほか、100枚ごとに帯で束ねるなどの機能を持っています。しかも、業界初の卓上型で最小サイズを実現し、窓口業務の大幅な効率化を促進しています。

1981年、業界に先駆け世界初の紙幣整理機を開発したムサシは、これまでのノウハウを活かした他メーカーに無い商品開発でお客様の信頼をいただいています。

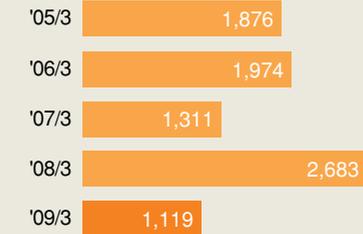


テラック460HA

● 売上高 (単位: 百万円)



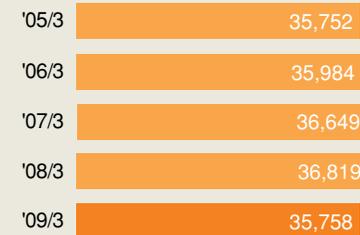
● 経常利益 (単位: 百万円)



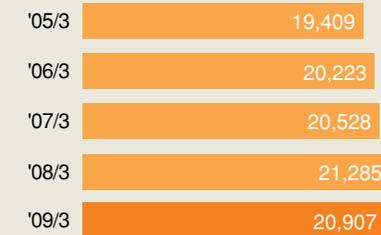
● 当期純利益 (単位: 百万円)



● 総資産 (単位: 百万円)



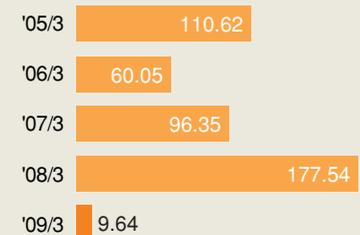
● 純資産 (単位: 百万円)



● 自己資本比率 (単位: %)



● 1株当たり当期純利益 (単位: 円)



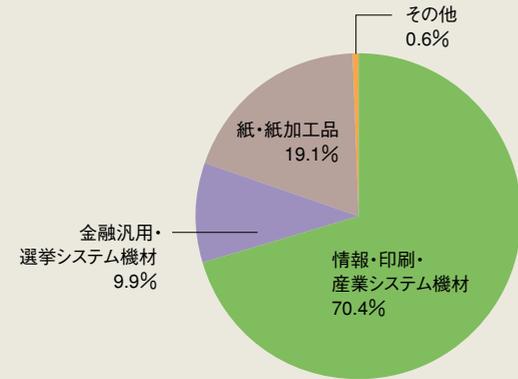
● ROE (単位: %)



● ROA (単位: %)



セグメント別売上高構成比



当連結会計年度におけるわが国経済は、米国の金融危機に端を発した国際的な金融不安による信用収縮が实体经济に波及し、輸出鈍化や生産減等により企業収益が落ち込み設備投資が大幅に縮小されるなど、厳しい景況感の中で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、情報のデジタル化業務の受注やデジタル印刷機材の拡販に注力する一方、貨幣処理機器やセキュリティ機器及び地方選挙向け機材などの販売に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結売上高は424億38百万円(前期比8.9%減)、営業利益は9億23百万円(前期比62.7%減)、経常利益は11億19百万円(前期比58.3%減)となりましたが、繰延税金資産の取崩し等により、当期純利益は76百万円(前期比94.6%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

情報・印刷・産業システム機材

情報・産業システム機材は、マイクロフィルム関連機材の販売は落ち込んだものの、官公庁・自治体及び民間企業からの各種ドキュメントの電子化業務の受注や非破壊検査機材の販売が伸長し、前年実績を若干上回りました。

印刷システム機材は、デジタル印刷機器の普及増に伴い印刷材料であるCTP版の販売は伸長しましたが、景気後退による顧客の設備投資意欲減退の影響を受け印刷機器の販売が軟調に推移したため、前年実績並みとなりました。

以上の結果、売上高は298億57百万円(前期比0.3%増)、営業利益は12億35百万円(前期比56.5%増)となりました。

金融汎用・選挙システム機材

金融汎用システム機材は、主要市場である金融機関や流通市場において設備投資が大幅に抑制されたことにより、鍵やIDカードの管理機などセキュリティ機器の販売は概ね順調に推移しましたが、主力の貨幣処理機器の販売が低迷したため、前年実績を下回りました。

また、海外営業分野につきましても、欧州市場の低

迷と円高の影響によりヨーロッパ向け貨幣処理機器の販売が落ち込み前年実績を下回りました。

選挙システム機材は、前年度に実施された参議院選挙や統一地方選挙など大型選挙向け需要の反動を受け、前年実績を大幅に下回りました。

以上の結果、売上高は42億16百万円(前期比46.8%減)となり、4億54百万円の営業損失(前期は営業利益14億64百万円)となりました。

紙・紙加工品

紙・紙加工品は、紙器用板紙や軟包装材料の販売は伸長したものの、感光材包装紙やクリーニングカードなど付加価値の高いオリジナル商品の販売が落ち込んだため前年実績を下回り、売上高は81億23百万円(前期比6.0%減)となりましたが、貸倒処理を行ったため、営業利益は3百万円(前期比96.4%減)となりました。

その他

その他のセグメントである不動産賃貸業、リース、損害保険代理業の売上高は5億19百万円(前期比15.9%増)、営業利益は1億35百万円(前期比3.4%増)となりました。

会社の対処すべき課題

当社グループは、情報のデジタル化事業につきましては、デジタルデータの記録保存に関する各種規格及び公文書等の管理に関する法令の制定に伴うドキュメントの電子化や、アーカイブを中心としたアウトソーシング事業の拡大に取り組んでまいります。

印刷システム機材分野では、更なる印刷工程の合理化や生産性向上、環境対応などを訴求しCTP機器の増設・更新に積極的に取り組むとともに、市場シェアの拡大を図ってまいります。また、オンデマンドやワイドフォーマット等のデジタルプレス機器の市場開拓と販売強化にも注力いたします。

金融汎用システム機材分野では、貨幣処理機など既設機器の更新需要はしばらく低迷すると予想されるため、ユーザーの営業戦略上の課題やコンプライアンス、オペレーショナル・リスク低減に関わる機器やシステムの開発及びソリューション提案に注力してまいります。

選挙システム機材分野では、国政選挙の有無にかかわらず安定した業績を確保するため、選挙業務ソフトなどの拡販に注力してまいります。

紙・紙加工品分野では、新規顧客開拓による市場シェアの拡大とともに、オリジナル商品や高付加価値商品の開発と販売に注力し収益構造の改善を図ってまいります。

● 連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	第 88 期 2009年3月31日現在	第 87 期 2008年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	11,588	14,004
受取手形及び売掛金	11,419	10,374
たな卸資産	—	1,868
商品及び製品	2,094	—
仕掛品	52	—
原材料及び貯蔵品	249	—
その他	627	581
貸倒引当金	△ 19	△ 20
流動資産合計	26,012	26,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,153	1,164
土地	2,182	2,182
その他	522	585
有形固定資産合計	3,858	3,933
無形固定資産	211	184
投資その他の資産		
投資有価証券	1,707	1,934
差入保証金	2,553	2,538
その他	1,525	1,513
貸倒引当金	△ 110	△ 94
投資その他の資産合計	5,676	5,892
固定資産合計	9,746	10,010
資産合計	35,758	36,819

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	第 88 期 2009年3月31日現在	第 87 期 2008年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,698	9,357
短期借入金	3,723	2,649
未払法人税等	79	872
賞与引当金	432	441
その他	550	964
流動負債合計	13,484	14,284
固定負債		
退職給付引当金	181	180
役員退職慰労引当金	718	622
その他	466	445
固定負債合計	1,366	1,249
負債合計	14,851	15,533
(純資産の部)		
株主資本	20,967	21,090
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	17,759	17,881
自己株式	△ 6	△ 5
評価・換算差額等	△ 59	195
その他有価証券評価差額金	△ 59	195
純資産合計	20,907	21,285
負債・純資産合計	35,758	36,819

● 連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	第 88 期 2008年4月1日～ 2009年3月31日	第 87 期 2007年4月1日～ 2008年3月31日
売上高	42,438	46,563
売上原価	34,467	36,830
売上総利益	7,970	9,733
販売費及び一般管理費	7,047	7,256
営業利益	923	2,476
営業外収益	271	281
営業外費用	75	74
経常利益	1,119	2,683
特別利益	15	—
特別損失	169	91
税金等調整前当期純利益	965	2,592
法人税、住民税及び事業税	522	1,122
法人税等調整額	366	58
当期純利益	76	1,410

● 連結株主資本等変動計算書

第88期（2008年4月1日～2009年3月31日）

(単位：百万円未満切捨て)

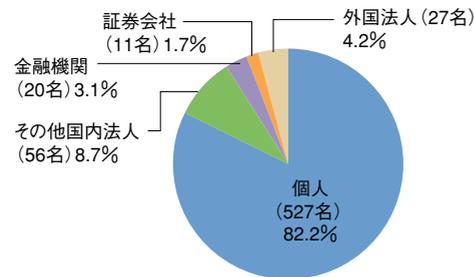
科 目	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2008年3月31日 残高	1,208	2,005	17,881	△ 5	21,090	195	21,285
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 198		△ 198		△ 198
当期純利益			76		76		76
自己株式の取得				△ 1	△ 1		△ 1
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）						△ 254	△ 254
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 122	△ 1	△ 123	△ 254	△ 377
2009年3月31日 残高	1,208	2,005	17,759	△ 6	20,967	△ 59	20,907

- 発行可能株式総数 28,920,000株
- 発行済株式の総数 7,950,000株
- 株主数 641名
- 大株主(上位10名)

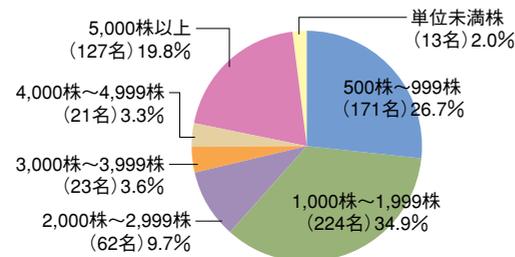
株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,365 千株	17.2 %
ショウリン商事株式会社	1,150	14.5
ムサシ社員持株会	517	6.5
羽鳥雅孝	360	4.5
株式会社みずほ銀行	360	4.5
ムサシ互助会	299	3.8
小林厚一	284	3.6
株式会社三井住友銀行	190	2.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	171	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	138	1.7

(注)持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

株式の所有者別状況(株主数)



株式の所有数別状況(株主数)



<http://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページでは、事業紹介やIR情報、商品情報、最新ニュースなどの情報を掲載しております。特に「IR情報」では、決算発表資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



トップページ

新着情報をはじめ、企業情報、IR情報、事業紹介映像など様々な情報をタイムリーに発信しています。



IR情報ページ

業績などの推移がグラフで一覧できる決算ハイライトや、直近から過去に及ぶ豊富なIRデータを掲載しています。



商品情報ページ

当社で取り扱う様々な商品やサービスの詳細を紹介しています。

商号 株式会社ムサシ
 設立 1946年12月
 本社 東京都中央区銀座八丁目20番36号
 資本金 1,208,500,000円
 従業員数 連結581名/単体285名 (2009年3月末現在)
 主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
 株式会社三井住友銀行
 関係会社 ムサシ・フィールド・サポート(株)
 武蔵エンジニアリング(株)
 (株)ムサシ・エービーシー
 ムサシ・イメージ情報(株)
 ムサシ・アイ・テクノ(株)
 エフ・ビー・エム(株)
 武蔵興産(株)
 (株)武蔵エンタープライズ
 (株)ジェイ・アイ・エム

役員

代表取締役会長	都 木 恒 夫
代表取締役社長	小 林 厚 一
代表取締役専務取締役	羽 鳥 雅 孝
取締役	青 坂 修 司
取締役	國 澤 達 人
取締役	小 野 丞 淳
取締役	佐々木 恵 三
取締役	平 口 進 隆
取締役	村 田 伸 一
取締役	吉 川 正 仁
取締役	浅 川 恒 典
常勤監査役	多 田 裕 彦
常勤監査役	中 川 信 彦
社外監査役	安 藤 信 彦
社外監査役	浅 野 修 一

事業所

- 本社
東京第一・第二支店
紙・紙加工営業部
海外営業部
東京都中央区銀座八丁目20番36号
- 札幌支店
札幌市北区北十二条西三丁目18番地2 (N12ビル)
- 仙台支店
仙台市青葉区錦町一丁目10番11号 (新平和ビル)
- 北関東支店
さいたま市大宮区土手町一丁目2番地 (JA共済埼玉ビル)
- 東関東支店
千葉市中央区栄町42番11号 (日本企業会館)
- 神静支店
横浜市神奈川区栄町1番地1 (アーバンスクエア横浜)
- 名古屋支店
名古屋市中村区名駅二丁目35番22号 (メビウス名古屋)
- 大阪支店
大阪府東大阪市長田中三丁目6番1号
- 中四国支店
広島市中区本川町二丁目6番11号 (第7ウエノヤビル)
- 福岡支店
福岡市博多区店屋町6番25号 (第6上村ビル)
- 新潟営業所
- 茨城営業所
- 静岡営業所
- 北陸営業所
- 岡山営業所
- 高松営業所

